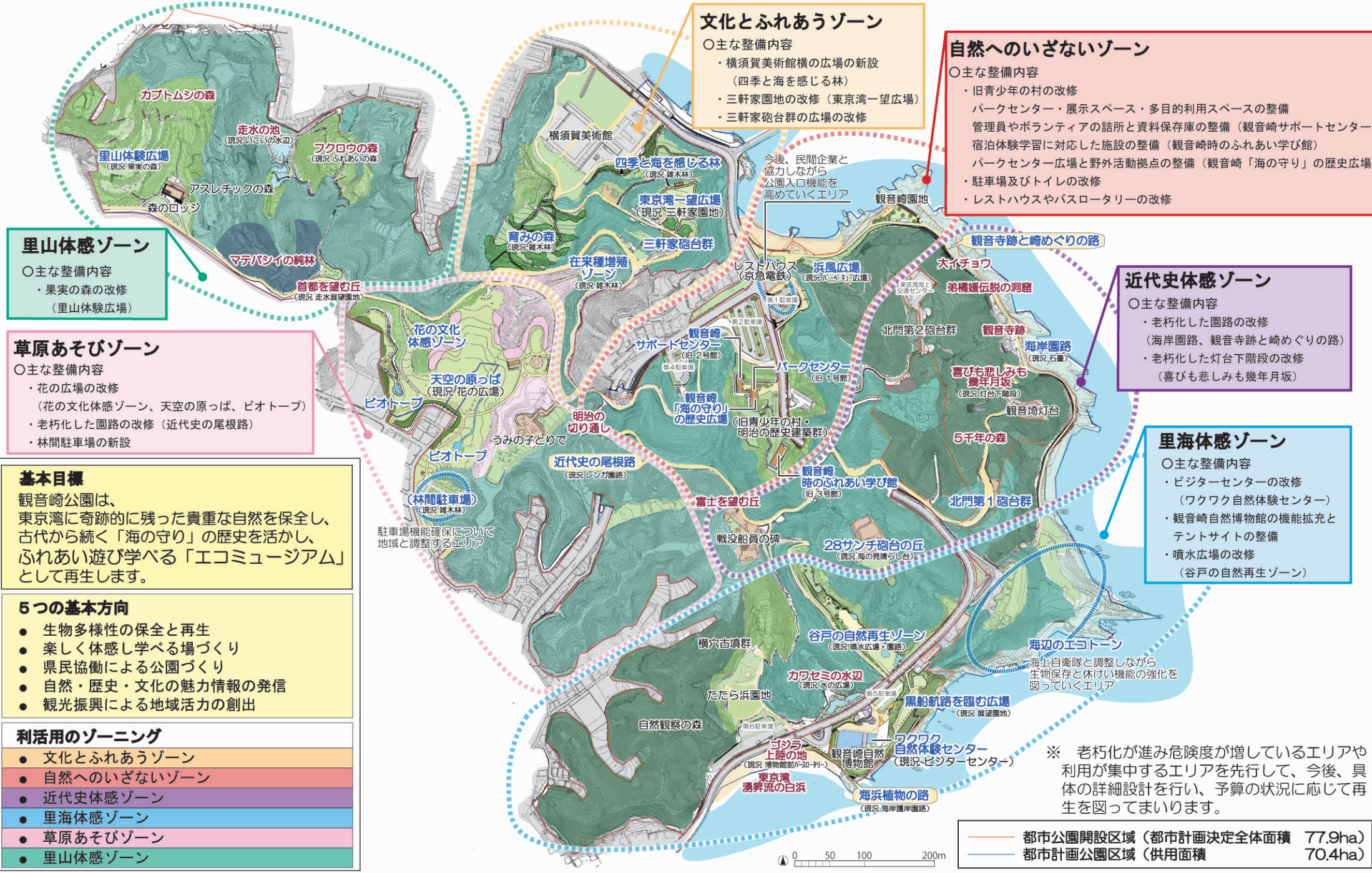


県立観音崎公園再生計画（案）の概要

再生の内容	図の凡例
① 新設や改修を行う施設	青文字
② 新たな名称（テーマ設定）により利用促進を図る施設	赤文字
③ 既存施設を引き続き良好に管理していく施設	黒文字



文化とふれあうゾーン

○主な整備内容

- 横須賀美術館横の広場の新設（四季と海を感じる林）
- 三軒家園地の改修（東京湾一望広場）
- 三軒家砲台群の広場の改修

自然へのいざないゾーン

○主な整備内容

- 旧青少年の村の改修
- パークセンター・展示スペース・多目的利用スペースの整備
- 管理員やボランティアの詰所と資料保存庫の整備（観音崎サポートセンター）
- 宿泊体験学習に対応した施設の整備（観音崎時のふれあい学び館）
- パークセンター広場と野外活動拠点の整備（観音崎「海の守り」の歴史広場）
- 駐車場及びトイレの改修
- レストハウスやバスロータリーの改修

近代史体感ゾーン

○主な整備内容

- 老朽化した園路の改修（海岸園路、観音寺跡と崎めぐりの路）
- 老朽化した灯台下階段の改修（喜びも悲しみも幾年月坂）

里海体感ゾーン

○主な整備内容

- ビジターセンターの改修（ワクワク自然体験センター）
- 観音崎自然博物館の機能拡充とテントサイトの整備
- 噴水広場の改修（谷戸の自然再生ゾーン）

里山体感ゾーン

○主な整備内容

- 果実の森の改修（里山体験広場）

草原あそびゾーン

○主な整備内容

- 花の広場の改修（花の文化体感ゾーン、天空の原っぱ、ピオトープ）
- 老朽化した園路の改修（近代史の尾根路）
- 林間駐車場の新設

基本目標

観音崎公園は、東京湾に奇跡的に残った貴重な自然を保全し、古代から続く「海の守り」の歴史を活かし、ふれあい遊び学べる「エコミュージアム」として再生します。

5つの基本方向

- 生物多様性の保全と再生
- 楽しく体感し学べる場づくり
- 県民協働による公園づくり
- 自然・歴史・文化の魅力情報の発信
- 観光振興による地域活力の創出

利活用のゾーニング

- 文化とふれあうゾーン
- 自然へのいざないゾーン
- 近代史体感ゾーン
- 里海体感ゾーン
- 草原あそびゾーン
- 里山体感ゾーン

※ 老朽化が進み危険度が増しているエリアや利用が集中するエリアを先行して、今後、具体的な詳細設計を行い、予算の状況に応じて再生を図ってまいります。

都市公園開設区域（都市計画決定全体面積）	77.9ha
都市計画公園区域（供用面積）	70.4ha

